

令和4年度第3回カーボンニュートラル実現に向けた北海道の再エネ活用研究会
議事要旨

日 時：令和5年2月20日（月）10:00～11:30

場 所：北海道経済産業局第1会議室

出席者：別紙の通り

議事概要

- ・ 北海道電力株式会社総合研究所より、資料4に基づき説明。
- ・ 事務局より、資料5に基づき説明。

主な質疑応答

（北海道電力株式会社総合研究所）

- ・ 「大規模グリーン水素サプライチェーン構築調査」の100MW級水電解装置を導入した場合における調査は国内初。「高効率木質バイオマスガス化炉による水素製造技術開発」の水素・電力併産システムの開発を目指した実証炉は北海道電力総合研究所にしかない。「未利用熱の効率的熱回収方法の検討」は実際の道内農家で適用可能性について検討しており、牛乳の中間冷却に地中熱を利用している点が特徴である。
- ・ 現状のカーボン・クレジット制度は参加者が限定されているため、例えばブルーカーボン等、再エネ事業者が絡んでいない事業のクレジットの取引が難しい。ブルーカーボンを事業化するためには、様々な事業者が参画できるようなクレジット制度の改革も必要。既にある昆布漁礁をブルーカーボンに応用できるかが課題。
- ・ 太陽光、風力、どちらも出力変動が激しく調整がしづらい。出力変動には短周期変動と長周期変動があるが、太陽光は短周期変動も長周期変動もある。苫小牧地区では、太陽光発電の短周期変動はリユース蓄電池で、長周期変動については水電解装置で調整していきたい。長周期変動を蓄電池で調整すると電池容量が大きくなりすぎてコストがかかってしまうので、ここを上手く組み合わせて出力調整をしていきたいと考えている。

（令和4年度活動報告（案））

- ・ 質疑なし。

以上

令和4年度第3回カーボンニュートラル実現に向けた北海道の再エネ活用研究会
委員名簿

(組織五十音順、敬称略)

(出席)

裕 一寿	興部町 町長
竹中 貢	上士幌町 町長
中島 俊明	北海道経済部 部長
井澤 文俊	北海道ガス株式会社取締役常務執行役員経営企画本部長
世永 茂	北海道電力株式会社 執行役員総合研究所長

(オブザーバー)

吉永 宏喜	農林水産省北海道農政事務所 次長
-------	------------------

(欠席)

徳永 哲雄	弟子屈町 町長
平本 健太	国立大学法人北海道大学大学院経済学研究院 教授
工藤 広	稚内市 市長